

2019年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2019年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「映像学部」

【文芸】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
映像学科	5	1	1
計	5	1	1

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
映像学科	1	1	1
計	1	1	1

【選考講評】

1. 実施状況

映像学部では、文化・芸術やスポーツ分野での優れた活動実績を持ち、映像学部での学びと将来の進路へとその力を発揮できることを期待して、本入試方式においては、面接と併せて口頭試問を実施しました。書類審査による第1次選考を通過した第2次選考受験者は2名（「文化・芸術」1名、「スポーツ」1名）、最終合格者は2名（「文化・芸術」1名、「スポーツ」1名）でした。

2. 試験内容

入試要項の第2次選考方法において、映像学部では「映像学部のアドミッション・ポリシーやカリキュラムへの理解度を確認します。そのうえで、将来の展望や目標、それを実現するための映像学部での具体的な学習計画などを確認します。」と記載しています。口頭試問では、全学共通の面接内容に続けて、映像学部で映像について学ぶことへの動機と、学習のみならずクリエイティブな活動と対外的な発信に向けた意欲、さらに映像に関わる将来の進路ビジョンに重点を置いて口頭試問を行いました。解答するにあたっては、自らの経験や実績に照らして、具体的に応答することを促しました。

3. 出題意図

映像学部のアドミッション・ポリシーは下記のように公表されています：

「映像学部では、芸術（アート）的、経済（ビジネス）的、工学（テクノロジー）的な要素を備える様々な科目を通じて、映像に関する「理論」と「実践」を繰り返し学んでいきます。こうした学びの中で、多様化する映像を社会の様々な場面で利活用できる「プロデューサー・マインド」を身につけ、未来の映像文化および映像産業を担う強い意志を持つ学生を求めています。具体的には、以下の資質を備えている学生を求めます。

- ① 映像を学ぶことに関わる総合的な学力を備えている者
- ② 映像を表現し、理解するための知識と技能を身につける意欲を備えている者
- ③ 映像を通じて広く人類と社会に貢献していく強い意思を備えている者

すなわち本ポリシーでは、映像学部での学びを通じた成長の意欲と将来を見据えた強い意思を求めることを主旨としています。

口頭試問では、映像分野への興味と関心を持ち映像学部への入学を志望するにいたる動機と、入学後の映像学部での活動計画、および将来の進路について、これまでの学習や活動歴にもとづいた具体的な考えを問いました。これにより、経験から得た資質と、それに裏付けられた学びの意欲と意思を評価することを意図しました。

4. 評価ポイント

志望動機、学習の計画、進路の展望について抽象的な解答ではなく、自らの経験や実績に照らして具体的に構成され、論理的に応答できているかどうかを重視しました。

映像学部での学習内容や方法について十分に理解した上で、それらと整合性をもって、入学後の学習や制作など諸活動の計画が具体的に想定されているか、またそれらを踏まえた将来像を描いているのかに着目しました。解答状況を総合的に判断し、論理的説明力および映像を本学で学ぶ動機と意欲を評価しました。

5. 解答状況

受験生全員が自分自身の得意分野や経験に基づいて、映像学部での学びやその後の進路についての考えを明確に答え、アドミッション・ポリシーに合致する資質を確認することができました。

受験生らは、これまで取り組んできた文化芸術活動・スポーツ活動（放送や馬術など）における経験や実績を踏まえ、映像学部への志望動機や入学後の展望を具体的に答えることができていました。また、映像学部のウェブサイトやパンフレットの確認、あるいは、オープンキャンパスへの参加などを通じた積極的な情報収集をおこなっており、カリキュラムや開講科目についての十分な理解を得ていました。また、そうした理解に基づき、入学後の具体的な学びの計画を受験生自身の言葉で解答できていることが確認できました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

重要な点は大きく2点です。第1に映像学部について十分に理解を深めてください。入試要項や学部のパンフレットなどの出版物では、アドミッション・ポリシー、カリキュラムや開講科目について、分かりやすく説明しています。また、映像学部HPやFacebook、Twitter等のSNSでは、入学後のイメージを得やすいように、在学生の多様な活動について学生自らの目線と声も取り入れ、多くの情報を発信しています。

第2にそのうえで、映像学部での学びを自分の成長にいかにか活かすかを考えるために、自分の経験や活動を振り返るとともに、今の関心と将来の希望を明らかにしてください。それを目指して、映像学部で何を学びたいのかについて、具体的な目標を立てて見つけ、受験に臨んでください。自分の得意分野や長所を映像と関連付けて、映像学部の学びの中でどのように伸ばすことができるか、伸ばしていきたいのかを考えてみてください。

7. 進学指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

映像学部は様々な形態の表現活動に関わる学部でもあり、入試に関わっても定型的な受け答えを求めるものではありません。また、奇抜な応答を期待するものでもありません。むしろ、どんな経験であれ自分と向き合い、その経験に即して具体的に思考し、体得したものと将来の展望を結び付け、自分の言葉でしっかりと他者に伝達することを大切にしてほしいと考えております。受験生へのアドバイスと同様となりますが、直接間接に関わらず映像と結びつけて進路を見据えながら、受験生が自分自身の長所や得意分野を映像学部の学びの中でいかに伸ばしていくか、ということを考えていただけるよう、ご指導をお願いいたします。

以 上